

# 平成18年度病害虫発生予察指導情報

対象作物：野菜全般

対象害虫：アブラムシ類

平成19年3月13日

鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

有翅アブラムシ類の初飛来が、例年と比べてかなり早く確認されました。農作物への寄生も例年より早くなることが予想されるため、今後の発生に注意し、初期防除を徹底しましょう。

## 2 情報の根拠

- (1) 3月10日、県園芸試験場（北栄町由良宿）の露地ほ場（スイカ作付け予定地）に設置した黄色水盤に、有翅アブラムシ類が誘殺されているのを確認した。これは、例年（4月10～20日）より約1ヶ月早い初飛来確認であった。
- (2) 雑草を含む、ほ場近辺の植物には、今のところアブラムシ類の寄生は確認されていない。
- (3) 有翅アブラムシ類の初飛来が平年と比べて早くなった主な原因として、冬期の気温が平年よりも高く推移したことが考えられる。（図1）

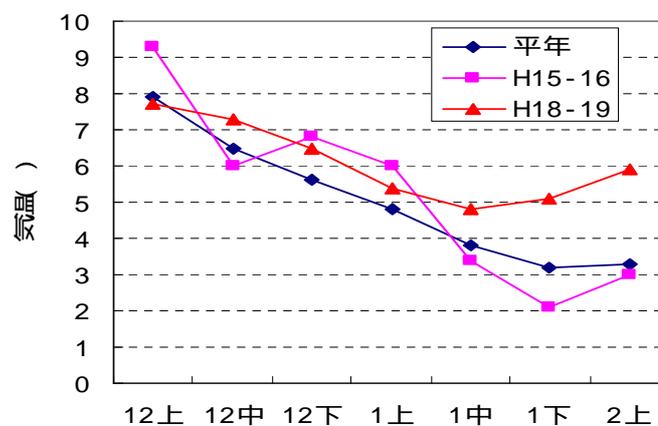


図1 冬期の平均気温の推移(鳥取市)

## 3 防除上注意すべき事項

- (1) ハウスの換気部分や出入口は寒冷紗や防虫ネットで覆い、アブラムシ類の侵入防止に努める。
- (2) 播種時や定植時に、農薬登録のある粒剤を処理する。
- (3) ほ場での初発生に注意し、初期防除を徹底する。